

想いを乗せて空高く



『インフルエンザ』の予防をしよう！



バルーンフェスタの目玉、「一斉離陸」

主なインフルエンザ予防

- ・ワクチン接種をする
- ・うがい、手洗い、手指消毒を推奨する
- ・マスクを着用する
- ・バランスのとれた食生活をする
- ・十分に休養をとる
- ・適度な湿度を保つ
- ・人混みや繁華街への外出を控える



十一月になりました。暑さ、涼しさから一転、街並みや着衣も冬の装いになりましたね。さて、この季節になると毎年、『インフルエンザ』が流行します。インフルエンザは、急激な発熱、全身倦怠感、関節痛などの症状が特徴です。

統計上、インフルエンザにかかるのは、十五歳未満が最も多く、次いで六十歳以上です。高齢者はインフルエンザにかかると重症化しやすく、小児は重症化しにくくても多数がかかるため拡大しやすいと言われています。十代後半から中年層は、あまりかからず重症になる割合も低ですが、学校や仕事を休みないため、ワクチン接種を希望する人が多くいます。多くの人が予防を心がけることによって流行しにくくなり、高齢者や小児などへの広がりを抑えて重症者数を減らすことにつながります。ワクチン接種は自分の為であり、人の為であります。

バルーンフェスタに行きました

佐賀県を舞台に行われるこの時期の一大イベントといえば、バルーンフェスタですよね。昨年は、雨風の影響で日程のほぼ全部が中止となっていましたが、今年は、多少の風の影響があったものの、数多くのバルーンが大空を舞い上がる光景が見れて、どの日程も大盛況だったようです。

かく言う私も、早朝から満員電車に揺られ大会の名物でもある「一斉離陸」を見物しました。当初までは「混んでいるし行くの嫌だなあ」なんて思ってましたが、空高く舞うバルーンをしばし眺めているとそんな気持ちも吹き飛びました。月並みな表現ですが、バルーンフェスタにはやはり、「夢とロマン」があるからなんだと思います。

たけおか新聞



第45号



色とりどりのバルーンが空に舞い上がるたびに大歓声が沸いて盛り上がりをみせっていました